

サンタの本質

名作絵本「サンタクロースってほんとにいるの？」から
父と子の会話の一部を紹介する。

子 どうしてお父さんやお母さんには来ないの？

父 子どもの頃にたくさんもらったからね。

子 どうして僕の欲しいものがわかるの？

父 子どもの欲しいものがわかる人だけがサンタに
なれるんだよ。

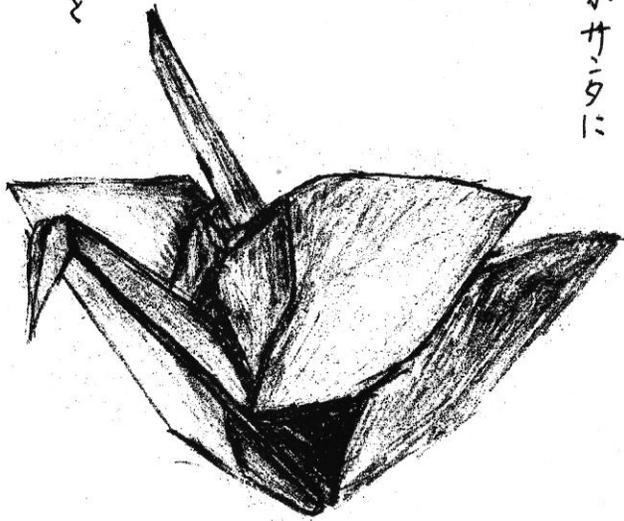
子 こんな家もあるのはなぜ？

父 病気の子どもをそばで話しこんで
まわりをれなくなったのかな。

子 ほんとにほんとにいるの？

父 サンタはいるよ。

さりげない答えの中に、
本当の優しいことや親としての愛の重さを
散りばめている作品だ。



子どもの夢であるサンタクロースは、
大人の確かな愛でつつまれ守られていくのだ。病気の子どもにも
暗い夜でも煙突のない家にも必ずサンタはやってくる。

「やがて君たちも、ほんとにいるの？」と問う子どものような子に
「サンタはいるよ」と確信に満ちて答えられるすまじな大人に
なってもうたいたいものだ。

もうすぐクリスマス イブ……

その人
相田みつを

福三
校長室
だより

ほたる草

平成二十七年十二月十八日(金)

NO.82

その人の形にできると
絶対にはなれない
その人を持つこと